

## 顔面骨格手術

睡眠時無呼吸症候群をとりまく病気

2011年10月

今号は顔面骨格を改善する手術について説明しましょう。米国のスタンフォード大学にはレム睡眠を発見したデメント教授や睡眠時無呼吸症候群を発見したギレミノー教授が在籍されていて、世界的な睡眠医学のメッカと言われております。近頃、このスタンフォード大学が力を入れ始めたのは上下顎前方移動手術（MMA）と言う顔面骨格に対する治療です。この手術を行うためだけに、同大附属病院とは別に新たな手術専門病院を作ったくらいです。

この手術の歴史は古く、私も何例も行っております。写真はその一例で、手術後の写真に金属のプレートやネジが残っているのが判ると思います。なんでまた、世界の睡眠医学をリードするスタンフォード大学がこの手術に注目しているのか、それはこの手術が唯一の根本的治療法だからです。それともう一つ、睡眠時無呼吸症候群を発症させずに未然に防ぐためのヒントが隠されているからなのです。

